

## 山から海へ

2017.  
10.29日  
開催!

## ～ 大地の芸術祭と瀬戸内国際芸術祭～ at 香露軒

瀬戸内国際芸術祭2019の基本計画が発表され、多度津町においても、2013年・2016年に引き続き、高見島での芸術祭開催が予定されています。

高見島では、これまで京都精華大学チームのアートプロジェクトを中心にアート展開を行っており、2019年も同大学のアートへの取組みを中心に、芸術祭が盛り上がっていくことが期待されます。

そこで、同大学から、「除虫菊の家」を制作した内田 晴之氏、「望郷の火」や「錆色の旅」を制作した若林亮氏をお招きし、高見島における瀬戸内芸術祭のこれまでの取組みや今後の展望などを語ってまいります。

また、イベントのオープニングには、マリンバ奏者の森 ゆき子氏が、“サヌカイト”を使用した楽器の演奏を行います。

## ●Program (総合司会 : 千葉 むつみ)

□13:00～ オープニング<サヌカイト生演奏>

演奏 : 森 ゆき子 (マリンバ奏者)

□13:30～ 講演<テーマ: 山から海へ ～大地の芸術祭と瀬戸内国際芸術祭～>

講演者 : 内田 晴之 (京都精華大学 教授)

□14:00～ クロストーク <バーチャルラジオ方式>

出演 : 内田 晴之 (京都精華大学 教授)

若林 亮 (京都精華大学 助手)

進行 : 千葉 むつみ (FM香川 パーソナリティー)

## ●Guest profile

## 内田 晴之

1952年静岡県生まれ。1976年京都精華短期大学立体造形専攻科修了。主にステンレススチールを素材とする彫刻作品を手がけ、国内外の彫刻展に出品。現代日本彫刻展大賞(1997)など受賞多数。京都精華大学芸術学部教員。

## 若林 亮

1985年大阪府生まれ。2010年京都精華大学修士課程修了。鉄を主な素材とし、人間との関係や記憶・循環などのテーマに鉄と向き合い、作品を作り上げる。主な展覧会は大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ(2009,2012,新潟)、瀬戸内国際芸術祭(2013,2016,香川)、「OPEN FIELD SEOUL KYOTO」(2015,韓国)など。

## 会場へのアクセス

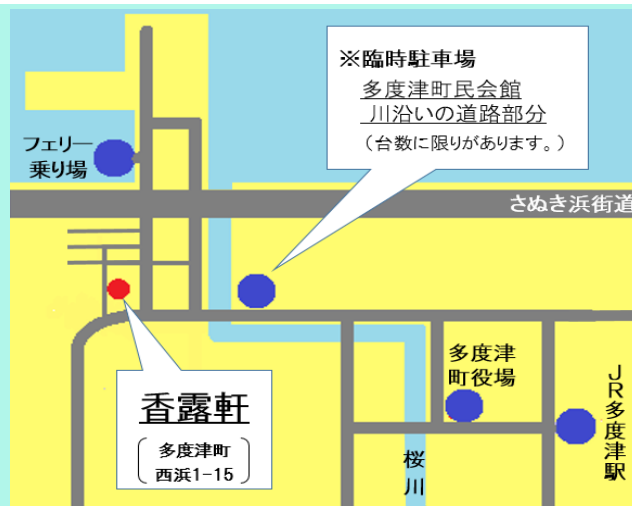
- ・JR多度津駅から徒歩約15分
- ・多度津港フェリー乗り場から徒歩約5分
- ・臨時駐車場: 多度津町民会館横の川沿い道路部分(一部)  
※台数に限りがあります。

## お問い合わせ先

瀬戸内国際芸術祭多度津町実行委員会事務局(多度津町産業課内)  
担当: 西山・井上  
電話: 0877-33-1113

※イベント参加費は無料です。

※会場には、京都精華大学の紹介冊子を設置していますので、ご自由にお持ち帰りください。



主催: 多度津町 共催: 京都精華大学

多度津町と京都精華大学は、2015年に「芸術・文化の連携・協力に関する協定」を締結しています。